

那須赤十字病院 広報誌



# プラタナス

No.4

## 新年のご挨拶



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、常日頃より当院に心温まるご支援を戴き、感謝申し上げます。

早いもので、平成24年7月1日から診療を開始して1年6カ月が経過しました。那須赤十字病院では三次救急に対応すべく、県北唯一の救命救急センターが24時間365日体制で運営されています。また、災害拠点病院としての機能を向上させ、東日本大震災のような災害発生時には屋上と地上の2カ所に設置してあるヘリポートを使って傷病者の受け入れを行います。さらに、新しい生命を守る周産期医療の充実、最新鋭の放射

線診断並びに治療機器の導入など、多くの機能を拡充しました。また、昨年4月には県北では初の緩和ケア病棟をオープンし、日本人の死亡原因の第一位である「がん」の治療に取り組んでいます。

当院の基本理念は「マイタウン・マイホスピタル～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～」であり、赤十字の基本原則に則り、高度で良質な医療の提供に努めます。また、地域のクリニックや病院の先生方と連携を強化して、県北唯一の地域医療支援病院としての役割を果たします。

今後の目標としては、救急医療の充実、地域連携医療の強化などを図ることによって地域完結型の医療が実践できるよう努力していく所存です。どうぞよろしくお願い致します。



平成26年1月

院長 北島敏光

### 目次

・新年のご挨拶	1
・診療科紹介 小児科	2
・登録医紹介 吉成小児科医院	3
・看護師紹介 認知症看護認定看護師	4
・部門紹介 臨床工学技術課	5
・マイタウン・マイホスピタル ミニニュース	6～7
・がんのつどい	8
・施設紹介 上島珈琲店	9
・お知らせ	10

### 基本理念

#### マイタウン・マイホスピタル

～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

### 基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくります。
3. 日々の研鑽を惜しまず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につくします。

# 診療科紹介



子どもの健やかな成長を支えるために頑張っています

第一小児科部長 新田 晃久

## 当院の小児科について

那須赤十字病院の小児科は常勤医師 5 名に加えて非常勤医師 8 名・臨床心理士 1 名のスタッフで入院・外来診療を担当しています。入院診療では、昨年 7 月の新病院移転時に入院ベッド数を増床し、一般小児 28 床、新生児 16 床（新生児集中治療室 NICU6 床・回復支援室 GCU10 床）となりました。病棟の設備が良くなりましたので、以前より快適にお過ごしいただけます。外来診療では、各分野の専門医による専門外来で、きめ細かな診療が可能です。獨協医大から有阪主任教授（内分泌）、志村講師（内分泌）、福島講師（血液・アレルギー・免疫）、福田助教（呼吸器・アレルギー）、塚田助教（神経）。済生会宇都宮病院から井原診療科長（心臓）、上山医長（腎臓）。埼玉医大から山内教授（神経）が、それぞれ専門外来を担当しています。

現在の常勤医師は新田（H6 年獨協医大卒）、市川剛（H16 年群大卒）、市川純子（H22 年獨協医大卒）、石井（H22 年獨協医大卒）、小川（H23 年山口大卒）の 5 名です。新田は主に新生児・小児救急、市川剛は内分泌、市川純子・石井・小川は後期研修医として小児科全般を担当しています。

## 患者さんのニーズへの対応

私たちは、患者さんのニーズをできる限り満たせるように、日々努力しています。小児救急の充実もその一つです。子どもを持つ親であれば、24 時間 365 日診察してもらえる病院が望ましいのは明らかですが、那須赤十字病院単独では無理な状況です。このため、国際医療福祉大学病院や那須郡市医師会と共に連携して、地域の小児救急医療を担っていきたいと考えています。なお、常勤医師 5 名とも小児救急の専門資格である PALS（小児二次救急処置）取得者です。

## 今後の目標

現在フル稼働状況ではない NICU・GCU の充実が挙げられます。獨協・自治の両総合周産期母子医療センターとの連携強化を図っていきます。

引き続き、那須赤十字病院小児科にご支援の程よろしくお願い申し上げます。



小児科医師

## タバコで胎児が窒息！！

### 妊婦がタバコを吸ったり副流煙を吸うと

- 1) 流産・早産・未熟児になりやすい
  - 2) 斜視・脳出血・小児ガン・赤ちゃんに奇形がおきやすい
  - 3) 乳幼児突然死症候群\*になりやすい
  - 4) 身長、体重の増えが悪い
  - 5) 知能の発達が悪い
  - 6) キレやすく、落ち着きがない子になりやすい
  - 7) 将来、犯罪者になりやすい
  - 8) 将来、女兒は不妊になりやすい
- （静岡市保健所長 加治正行氏）

# 登録医紹介

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている登録医の先生を紹介していきます。今回は「吉成小児科医院」を紹介します。



## 吉成小児科医院

対象疾患

小児科（小児科専門医）

得意分野

小児科です。小児科医なので…。

## 先生にインタビュー

**Q** 当院との医療連携について期待されていることはどの様なことですか？

**A** 何かの病気になったときに、近くの信頼できる医療機関にかかり、入院・手術が必要となれば近くの信頼できる中核病院にかかるというのが、地域の方が一番望んでいることだと思います。

医療機関と日赤とで連携して、そのような体制を構築できればと思っています。

**Q** 毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

**A** 体を動かすのが好きで、以前はテニス、野球、ゴルフを楽しんでいましたが、最近はゴルフとウォーキングを行っています。健康維持のためのウォーキングですが、普段車で通っている道でも新たな気づきがあり、おもしろいです。

その他、読書をしたり、なんとか都合をつけて年に1度は旅行します。

**Q** 最後に地域の方々、患者さんへ一言お願いします

**A 1** 小さな子を持つお父さん・お母さんへ  
ワクチン接種は、親が子どもに与えることができる最も確実なプレゼントです！

日本は、欧米先進諸国に比べワクチン接種体制が整っていません。子どもに必要なワクチンが定期接種に入っていないために無料で接種できません。

大田原市はワクチン接種にとっても力を入れています。ロタウイルスワクチン、おたふくかぜワクチン、水痘ワクチン、B型肝炎ワクチン、小児肺炎球菌ワクチンの補助的追加接種、高齢者の肺炎球菌ワクチン、成人への風疹ワクチンに対して公費助成を行っています。このように充実したワクチン行政を行っているのは大田原市だけだと思います。

「ワクチンで予防できる病気はワクチンで予防する」という考えは世界共通です。大切な子どもの健康を守るために、是非、ワクチン接種をしてください。

**A 2** 子どもをもっと褒めてください。

子どもは褒められることによって、他人から認められたと感じます。

子どもは褒められることによって、自信がついて意欲が湧いてきます。

子どもは褒められることによって、情緒的に安定します。

善悪を知るための躾は大切ですが、怒らず根気よく教えましょう。

## 基本情報

- 院長 吉成 仁見（としみ）
- 住所 大田原市新富町2-1-22
- 電話 0287-22-2412
- 診療科目 小児科
- 休診日 祝祭日・日曜日・木曜午後・土曜日午後



## 認知症予防は“ピチピチの脳みそ”です

認知症看護認定看護師 黒崎 頼子

### 認知症の人はどれくらいいるの？

厚生労働省の調べでは現在の平均寿命は、男性が79.2歳、女性が86歳と、年々伸び続けています。2012年の時点で、すでに65歳以上の人口の10%（242万人）が認知症を有していると言われており、今後高齢者人口の急増とともに認知症患者数も増加し、2020年には325万人まで増加すると予測されています。認知症の最大の危険因子は加齢です。65～69歳での有病率（※1）は1.5%ですが、以後5歳ごとに倍に増加し、85歳では27%に達します。

### 認知症看護認定看護師について

栃木県には認知症看護認定看護師が10名おり、県北には、那須赤十字病院に勤務する白井愛海さんと私（H24.9取得）の2名がおります。現在は、研修期間中に学んだ知識を再確認しながら看護実践を行い、認知症をもちながらも本人・家族が安心して医療が受けられるよう、人権を尊重した看護を提供しています。また11月より、週に1回精神科医・臨床心理士と共に病棟ラウンド（※2）を行い、その中で認知症を患う患者さんだけでなく、入院による環境の変化や治療・苦痛により混乱を生じてしまった方や不安が募っている方、眠れずに不眠を訴えている方などの症状や生活・環境改善のためのお手伝いをしています。「精神的な苦痛を伴っている人の病態・症状・進行の過程を明確にし、看護過程における総合的アセスメント（※3）に基づく質の高い医療・看護を提供する」ということを使命とし、今後も他職種と協働していきたいと思っております。

### 認知症の人を正しく理解する

認知症の人たちは「何を言っても分からない人」ではなく、自分の思いを言葉で的確に伝えにくくなり、代わりに暴言や暴力・徘徊・介護拒否などの行動で示さざるをえない人たちなのです。このような人たちのよき理解者・代弁者を一人でも多く増やすことで、今後増加するであろう認知症の人たちを社会で、地域で、そして心で支えることができると信じています。

### 予防が大切

日々医療が進歩する中でも、認知症という領域はまだ完治がむずかしい段階にあり、大切なのは常日頃からの予防となってきます。その予防法をぜひ参考にし“ピチピチの脳みそ”を保ってください。

（※1）有病率 特定の時点における特定の疾病をもつ病者が全人口に占める割合。

（※2）病棟ラウンド 入院患者さんの元を訪れ、状態を確認して、指導・アドバイスなどを行う。

（※3）看護過程における総合的アセスメント 患者さんを把握する為に必要な情報を集めて、それらの情報の持つ意味を考え、何が問題として起こっているか総合的に把握すること。



病棟ラウンドを行うメンバー

### 認知症の予防 10ヶ条

認知症の予防法は良い生活習慣です。以下を実践し“ピチピチの脳みそ”を保ちましょう。

1. 運動を習慣化しましょう
2. 適量のタンパク質を摂取しましょう
3. 野菜をたくさん食べましょう
4. 果物は適量摂りましょう
5. バランスよく食べましょう
6. 血圧・血糖・脂質に気をつけましょう
7. 年に1度は健診を受けましょう
8. お酒を飲むなら適量にしましょう
9. タバコは吸わないようにしましょう
10. 昼寝は30分程度にしましょう

## 部 門 紹 介

### 臨床工学技術課

臨床工学技術係長 室 井 純 一

#### はじめに

私たちの部署は、臨床工学技士という国家資格所有のスタッフが8名在籍しております。臨床工学技士が1987年に国家資格になるまで、機器の保守点検のみを電機系のエンジニアが行っていた時代がありました。この方々をメディカル・エンジニア、略して“ME”と呼んでいたことが定着し、現在でも当院では“ME”と呼ばれています。施設によっては国家資格となった後の臨床工学技士（クリニカル・エンジニア）の“CE”と呼んでいるところもあります。



臨床工学技術課スタッフ

#### 私たちの業務活動

私たちは血液透析室以外では患者さんと直接対話することは少ないので、あまり知られていないかもしれません。私たちは主に生命維持装置の操作や保守点検を通じて、患者さんの診療に貢献する医療機器のスペシャリストです。生命維持装置とは、人工呼吸器、麻酔器、補助循環装置、血液浄化装置、心臓ペースメー



人工呼吸器の保守点検中

カー、保育器、除細動器、AEDなどを言います。近年では生命維持装置に留まらず、手術室で患者さんを治療するための機器や患者さんの心電図、血圧、酸素飽和度などを長時間監視する生体情報モニター、正確に点滴をするための輸液ポンプの操作や保守点検も行ない、先進医療機器が欠かせない現代の医療では、医学と工学に精通した唯一の医療専門職としてその重要性がますます高まっています。



輸液ポンプの点検作業中です。

また、当院では医療機器中央管理室を設け、外来や病棟で使用する医療機器を一元に管理することで、いつでも安心して使用できるように準備し取り揃えています。さらに、患者さん本人や家族の方に、在宅で使用する医療機器の取り扱い説明を行ったり、より安全に医療機器を使用するべく、病院スタッフを対象に医療機器の取り扱い研修会を開いております。



医療機器中央管理室

私たちは医療機器を通じて患者さんをサポートし、入院から手術、治療、退院後の生活に関して、常に安全で安心な医療を提供することを心掛け、スタッフ一同従事しております。

# マイタウン・マイホスピタル ミニニュース

## 9月 第13回全国赤十字病(産)院スポーツ大会

駅伝部出場 /9月21日(土)～22日(日) 旭川市  
旭川赤十字病院が当番となり開催され、当院からは駅伝部が出場しました。

院長はじめ駅伝部員のみなさん、本当にお疲れさまでした。来年度は日赤東部ブロック(関東甲信越の日赤)の体育大会が当院当番で大田原市を中心に開催されます。「野球部・バレー部・テニス部・卓球部」が参加予定です。



## 10月 後援会より車椅子10台の寄贈

那須赤十字病院後援会 /10月15日(火)

今年度は後援会より車椅子10台の寄贈がありました。今後は外来患者さんや、入院患者さんに使用されます。

現在の後援会の会員数は、法人148団体、個人259名。公的医療機関として病院が適正かつ円滑に運営されるようご支援いただいております。



## 11月 わくわくチャレンジ

6名の参加 /11月15日(金)

毎年近隣市町の中学生を受け入れており、今年は6名が参加してくれました。

病院での体験や経験が、生徒たちの将来の夢に繋がるよう期待しております。



## 11月 オカリナ演奏会

栃木県シルバー大学北校OB(有志による)

/11月18日(月)

今年度2回目となる院内コンサートが開かれました。当院を退院された患者様のご好意によるもので、オカリナコンサートの他、腹話術やマジック、フォークダンスが披露され、入院中の患者様や子ども達を楽しませていただきました。本当にありがとうございました。



## 11月 安全祈願

旧病院解体工事安全祈願 /11月20日(水)

旧病院の解体工事が正式に決定し工事安全祈願が執り行われ、当院からは院長・事務部長他5名、施工業者の鹿島建設から5名が参加し無事に終了しました。  
※那須赤十字病院は平成24年7月1日に現在の大田原市中田原に新築移転しました。



# マイタウン・マイホスピタル ミニニュース

No.2

**12月は院内で様々なクリスマスイベントが開催されました。**

●クリスマスツリー（鶴） 12月7日～26日

入院・外来患者さんやそのご家族、病院職員らが作製した折り鶴2万羽でクリスマスツリーをつくり、正面玄関に展示しました。



●4階東病棟(小児科病棟) クリスマス会 12月19日

看護師や保育士が着ぐるみを着て人形劇やハンドベルの演奏を披露、そしてサンタさん（新田医師）も登場しました。入院している子どもたちはお母さん・お父さんと一緒に楽しい時間を過ごしました。



●リハビリテーション科 クリスマス会 12月19日

フルーツ演奏会に楽しいダンス、サプライズのクリスマスプレゼントもありました！



●8階西病棟(緩和ケア病棟) クリスマス会 12月19日

泌尿器科 遠藤医師によるバイオリン演奏、病棟スタッフによるクリスマスソング、ボランティアの語り部による民話の披露がありました。バイオリンの音色に感激の涙をみせる患者さんもいました。

また、夕方にはサンタクロースとトナカイに扮した外科の医師による病棟訪問がありました。



●後援会主催 クリスマスコンサート

(株)ソナーレによる木管五重奏のコンサートで、「じぇじぇじぇ」でお馴染みのあまちゃんのテーマから始まり、クリスマスソングメドレーなど、クリスマス気分満喫のコンサートに来場者からは大変好評でした。



# がんのつどい ～蕾がほころんだ～

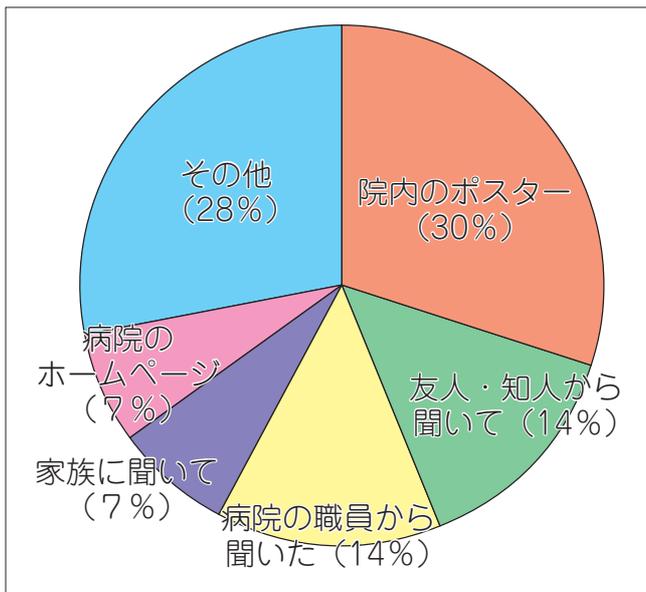
がん診療対策推進室 事務局 入田 和 恵

私たちには、「がんのつどい」を維持するために育んできたゆるぎない時間があります。

第1回目は平成23年7月2日に開催、3名の方が参加してくださいました。参加者が少なかったため、近隣の広報へ掲載依頼をしたり、病院のホームページで情報を発信したりしましたが、何とんでも参加者がぐっと増えたのは、平成24年4月に下野新聞の取材を受け、記事が載ったときでした。メディアの力は大きいと感じました。

参加人数の平均は、平成23年度が5名、24年度が13名、25年度が10名です。友人・知人、職員から聞いたという参加動機の方も増えてきました。“定期検査のみの安定した段階になっても、日々恐れと闘いながら生活をしている。そんなときに、共通の経験をしている人の話が聞けると良い。みんなに会えるのが楽しみで、カレンダーに印をつけている。”という感想をいただいています。

〔何で「がんのつどい」を知りましたか？〕



平成24年8月に「がんのつどい」参加者中心の、「がん患者と家族の会 ピアサポート那須」が発足しました。私たちが初回参加時にお願いしているアンケート

では、80%の方々が、患者の会の事を知らないと回答されます。しかし、「がんのつどい」に参加し、情報交換や悩みごとの相談をしているうちに、“ここに参加できる私たちは良い、出て来られない人たちのために何かしなければいけない。”との強い思いで立ち上げてくださいました。

毎月第1土曜日に1時間で実施していた「がんのつどい」でしたが、患者の会が発足してからは、病院主催の「がんのつどい」1時間に続けて、患者の会主催の「がん患者と家族の会 ピアサポート那須」を1時間開催しています。

今年度は、5回ですがテーマを決め、栄養士・薬剤師・理学療法士・作業療法士・社会福祉士・看護師などにアドバイザーをお願いして開催しています。ここで得た医学情報を試したいからと医師に相談し、治療を始めることが出来たと感謝の言葉もいただいています。

“小さな種から大輪の花へ”と、ヒマワリの花をイメージしながら始めた私たちです。着実に一步一步前進していると思います。今は、蕾がほころんできたところです。

花を咲かせる方法を、みんなで考えていくことが、これからの課題です。

**がんのつどいへのお誘い**

**Q.がんのつどいってなんだろう？**

↓↓ これまでの参加者の声では…

- ・「大変だね…」似た状況の方と思いを共有できる！
- ・「どうしてる？」情報を得ることができる！

**あなたも、同じような体験をした方とがんについて話してみませんか？**

担当：白石(臨床心理士)、石井(看護師)、野中(社会福祉士)、入田(事務局)

費用：無料

日時：第一土曜日10:00～11:00 会議室①②

参加要項：がんを患っている患者さん・支えているご家族

申込先：0287-23-1122 内線3513(担当:野中)

～栃木県初出店～

# 上島珈琲店 那須赤十字病院店

営業時間 7:30～18:00 年中無休

“本格ネルドリップコーヒーで『くつろぎの空間』を”



上島珈琲店  
"PRECIOUS COFFEE MOMENTS"  
Est. 1933. KGBE



イートスペースはもちこみOK。  
どなたでもご利用できます。

各種フードメニューも取り揃えてあります。

ご家庭でも上島珈琲店の味  
をお楽しみください。

## ☆☆ オススメコーヒー ☆☆

《グランドメニュー》

黒糖ミルク珈琲 (Mサイズ) ¥390



《季節の限定メニュー》

生チョコミルク珈琲 (Mサイズ) ¥480



「黒糖の甘みが程よく、マイルドな飲み物でした。お店の雰囲気も落ち着いていて、とても癒やされました。」 (40代女性/大田原市在住)

「生チョコの冷たくて甘い感じが絶妙にマッチしてました。ホッと安心するような味わいです。」 (20代男性/宇都宮市在住)

### お客様へ一言

都内を中心に展開している上島珈琲店ですが、那須赤十字病院店は栃木県初出店となりました。

日本の古き良き喫茶文化を大切にしたい大人の珈琲店をコンセプトに、珈琲をおいしくいれる最高の抽出方式といわれる「ネルドリップ」を追求し、独自開発したネルドリップマシンを使用しております。ネルドリップ珈琲を使った、上島珈琲店でしか味わえないミルクたっぷりの「ミルク珈琲」もお勧めです。皆様には、最後の一滴までおいしいと感じる珈琲を提供させていただきます。ご来店心よりお待ちしております。

上島珈琲店 那須赤十字病院店スタッフ一同

## 緩和ケア講演会 「緩和ケアの本質とは」

～スピリチュアルケア、死から生といのちを考える。そして、医療者自身の心のケア～

**日時** 平成26年2月21日(金) 18時～20時  
**会場** 那須赤十字病院  
2階マイタウンホール(参加費無料)  
**対象** 医療従事者  
**定員** 150名  
**講師** 高宮有介 先生  
(昭和大学医学部医学教育推進室講師)



**〈略歴〉** 1985年 昭和大学医学部卒業  
1989年 英国ホスピスで研修  
1992年 昭和大学病院内で  
緩和ケアチーム活動開始  
2001年 昭和大学横浜市北部病院  
緩和ケア病棟に専従  
2007年 現職  
緩和ケア教育を昭和大学  
および全国に発信している。  
大学病院の緩和ケアを考える会代表世話人  
日本緩和医療学会理事

**お問い合わせ** 那須赤十字病院 がん診療対策推進室  
0287-23-1122(内線3708)

**主催** 那須赤十字病院  
**後援** 那須郡市医師会／栃木県病院薬剤師会／栃木  
県薬剤師会／大田原薬剤師会／なす薬薬連携研究会

## 第17回食品まつり

**日時** 平成26年3月15日(土) 10:00～14:00  
**会場** 2階 マイタウンホール

## 平成26年1月1日より 第5土曜日 「外来診療」休診のお知らせ

これまで第2・第4土曜日は休診とさせていただいておりましたが、平成26年1月より第5土曜日も、外来休診とさせていただきます。

何卒ご理解のほどよろしくお願いたします。  
なお、第1・3土曜日は診療いたします。

**平成25年12月まで 第2・第4土曜日外来休診**  
**平成26年1月より 第2・第4・第5土曜日外来休診**

平成26年の第5土曜日の休診は、3月29日、5月31日、8月30日、11月29日の4日になります。

## いきいき介護リハビリ教室

平成26年3月1日 「介護実技」

**場所** 那須赤十字病院  
2階リハビリテーション室  
**時間** 10:00～11:00  
**費用** 無料  
**申し込み** 不要  
**参加資格** 介護に興味のある方ならどなたでも！

※変更などの場合には院内掲示物、病院ホームページに掲載させていただきます。



### 編集後記

子供の頃から変わらず、何歳になってもお正月つて楽しみで、早く来い来い～と待ち遠しく心躍ります。

本誌も発行が待ち遠しくて、心躍る内容の広報誌となるよう今年も皆様に様々な情報をお届けしてまいります。

人事課 横山

### 那須赤十字病院広報誌プラタナス NO.4

**発行日** 2014年1月

**発行者** 那須赤十字病院

〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

<http://www.nasu.jrc.or.jp>

**TEL** 0287-23-1122 **FAX** 0287-23-3004

**印刷** 株式会社 松井ピ・テ・オ・印刷